

8.17 エネルギー

8.17.1 調査事項

調査事項は、表 8.17-1 に示すとおりである。

なお、工事中の建設機械の稼働に伴う温室効果ガスの排出量は、「7.1 東京 2020 大会に係る実施段階環境アセスメント及びフォローアップの全対象事業についての実施段階環境アセスメント及びフォローアップの実施予定又は経過」(p.51 参照)に示したとおり、施設の持続的稼働に伴う温室効果ガス排出量に比べて排出期間、量ともに少ないことから、建設機械の稼働に伴うエネルギーの使用量については、フォローアップ調査の対象から除外した。

表 8.17-1 調査事項

区 分	調査事項
ミティゲーションの実施状況	・建設機械の稼働に当たっては、アイドリングストップやエンジン回転の抑制など省エネ運転を徹底する他、極力、燃費性能の高い建設機械を使用する等の配慮も行う計画としている。

8.17.2 調査地域

調査地域は、計画地とした。

8.17.3 調査手法

調査手法は、表 8.17-2 に示すとおりである。

表 8.17-2 調査手法

調査時点		工事の施工中（2016年12月～2019年11月）とした。
調査期間	ミティゲーションの実施状況	工事中（2016年12月～2019年11月）の適宜とした。
調査地点	ミティゲーションの実施状況	計画地とした。
調査手法	ミティゲーションの実施状況	関連資料(建設作業日報等)の整理による方法とした。

8.17.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.17-3 に示すとおりである。

なお、エネルギーに関する苦情は工事終了までになかった。

表 8.17-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> 建設機械の稼働に当たっては、アイドリングストップやエンジン回転の抑制など省エネ運転を徹底する他、極力、燃費性能の高い建設機械を使用する等の配慮も行う計画としている。 	<p>朝礼等を通じて、アイドリングストップの厳守や作業効率等の良い建設機械の使用等について関係業者や運転者へ指導を行うとともに、アイドリングストップ厳守に関わる掲示を行い、エネルギー使用量の低減に向けた周知・徹底を図った(写真8.17-1~2)。</p> <p>一部の建設機械については、低燃費に配慮した建設機械を採用した。</p>



写真 8.17-1 アイドリングストップの掲示



写真 8.17-2 朝礼